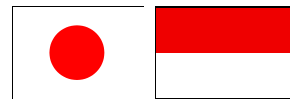


# インドネシア現地法人経営品質 100点満点チェックリスト





# 自己紹介



- 1975/4～1981/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援分野配属
- 1981/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/7～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立  
インドネシア語翻訳・通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家

独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)講師

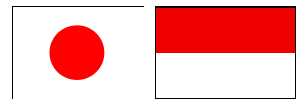
一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社

インドネシアとの  
関わりも51年  
になりました



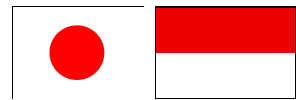
# セミナー要旨



- 中小企業のインドネシア現地法人に駐在する日本人は、一人で全ての業務分野を見ている場合がほとんどです。
- そのため、日々の問題や課題の解決に追われ、企業経営と言う観点から、自社の問題や課題をじっくりと考えることは少ないと思います。
- このセミナーでは、American Productivity and Quality Centerが提供している[Process Classification Framework](#)を参考に、日本の中小企業のインドネシア現地法人の経営品質を、100点満点で評価するための方法を提供します。
- 60点を及第点とし、それを下回った現地法人には、改善のための対策を検討し、実施されるだけでなく、現地法人責任者の方々には自己評価の機会として活用されることを期待しております。



# 目次



## オペレーション業務

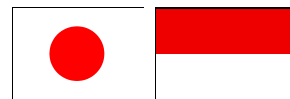
1. 事業計画
2. 商品開発
3. 市場開拓
4. 商品供給
5. 顧客サービス

## サポート業務

6. 人事労務
7. 情報技術
8. 財務経理
9. 社会責任
10. 防犯保障
11. 総合評価



# 1. 事業計画

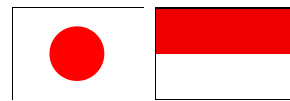


No.	チェック内容	評価点
1	自社の事業展開に関わるインドネシアの政治経済の情報を把握している	
2	インドネシアの市場調査や顧客ニーズの調査を定期的実践している	
3	SWOTクロス分析に基づき自社の強み・弱み・機会・脅威を分析している	
4	本社や合併相手との間の責任と権限の役割分担が明確に定められている	
5	事業戦略は <a href="#">中期事業計画</a> の中で文書化され会社幹部で共有されている	
6	中期事業計画は最短でも3ヵ年先まで立案され、毎年更新されている	
7	中期事業計画は定量分析が行われ、自社の経営指標は掌握されている	
8	更新された中期事業計画達成に合わせ、各部門の業務目標が定められている	
9	更新された中期事業計画は株主総会において議論されている	
10	中期事業計画の実績は株主総会において役員評価に活用されている	
合計得点(10点満点)		

評価点の定義: 十分実現している場合は1点、それ以外は0点



## 2. 商品開発

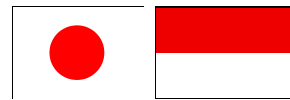


No.	チェック内容	評価点
1	既存の商品に対する市場や顧客からの評価を体系的に集約し分析している	
2	既存の商品をベースにした新商品の検討が常時進められている	
3	インドネシアの市場において新商品のヒントとなる発見を常に探している	
4	商品開発において品質・価格・納期・発売時期について市場の声を聴いている	
5	商品のライフサイクルは会社の都合ではなく、市場の要望を重視している	
6	商品開発のデータは会社の財産として整理保存している	
7	製品設計の段階においてインドネシアの法律や慣習を熟慮している	
8	製品設計において生産部門の意見を重視している	
9	製品設計においてサプライヤや外注企業の協力を仰いでいる	
10	製品設計において流通分野の意見を聴いている	
合計得点(10点満点)		

評価点の定義: 十分実現している場合は1点、それ以外は0点



### 3. 市場開拓

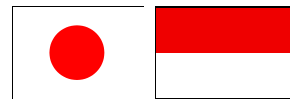


No.	チェック内容	評価点
1	市場、顧客、業界の情報分析に基づき、自社の参入機会を定量的に評価している	
2	顧客にとっての価値を重視した価格に設定している	
3	商品と顧客に適した販売チャネルを選択している	
4	過去の需要実績に基づき販売予測を立てている	
5	売上数量、売上金額、売上粗利益、正味利益からなる売上予算を立てている	
6	市場での認知度を上げるために、適切なメディアを通じた広告宣伝を打っている	
7	価格設定の際の数量条件は関係者に共有されている	
8	顧客の動向は定性的および定量的に把握されている	
9	包装仕様は市場開拓の重要な要因として認識されている	
10	顧客情報はデータベース化されており新商品の市場開拓に即応出来る	
合計得点(10点満点)		

評価点の定義: 十分実現している場合は1点、それ以外は0点



## 4. 商品供給

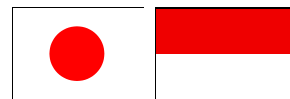


No.	チェック内容	評価点
1	調達、生産、納入の各計画は、サプライチェーンの全体最適を大前提にしている	
2	調達、生産、納入の各計画は、財務上の予実績管理とリンクしている	
3	サプライヤは自社の価格、品質、納期の改善に寄与する度合いで評価されている	
4	サプライヤは自社の製品開発に積極的に協力出来る関係にある	
5	各生産職場は自律的に詳細な生産スケジュールを立案出来る	
6	生産、検査、梱包の各作業は一連の流れの中で途切れることなく繋がっている	
7	顧客への納期回答は材料計画に遡り、全ての可能性を反映している	
8	顧客の手元に届くまで、商品の状態を追跡して確認することが出来る	
9	返品の流れ、条件、規定が顧客にも明確に理解出来る	
10	<u>サプライチェーンの全体像が可視化</u> され、関係者間で共有されている	
合計得点(10点満点)		

評価点の定義: 十分実現している場合は1点、それ以外は0点



## 5. 顧客サービス

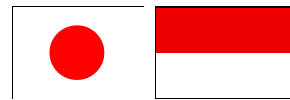


No.	チェック内容	評価点
1	顧客サービスのために顧客は分類され優先順位が付けられている	
2	顧客サービスの方針や手順は文書化あるいは可視化されている	
3	顧客サービスのレベルは関係者間で明確に理解されている	
4	顧客サービスに必要な労力と負荷は事前に計算され準備されている	
5	顧客サービスの窓口と顧客の対話品質は監視され評価されている	
6	顧客サービスの対応処理手順は関係者間で明確に共有されている	
7	顧客クレームの対応処理手順は関係者間で明確に共有されている	
8	顧客サービスに対する満足度は測定され報告されている	
9	顧客クレーム処理に対する満足度は測定され報告されている	
10	商品に対する満足度は測定され報告されている	
合計得点(10点満点)		

評価点の定義: 十分実現している場合は1点、それ以外は0点



## 6. 人事労務

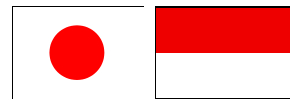


No.	チェック内容	評価点
1	長期事業計画に沿った形で、人材の確保および育成計画が進められている	
2	新規募集の際の方針、条件、手順は職種により定められている	
3	新規採用の際の方針、試験や <a href="#">面接の条件</a> は、職種により定められている	
4	新規採用後の配属前の研修や訓練プログラムは職種により定められている	
5	配属後の能力向上のための継続的な研修プログラムは職種別に定められている	
6	従業員が自己啓発に役立てられる <a href="#">人事評価制度</a> が定められ公開されている	
7	人事評価制度と緻密に連動した賃金・手当テーブルが定められ公開されている	
8	<a href="#">就業規則</a> あるいは労働協約は制定・更新され、全従業員に配布されている	
9	<a href="#">小集団活動</a> や改善提案制度など、 <a href="#">報奨制度</a> が整備されている	
10	食堂、更衣室、礼拝所、トイレ、休憩所などの <a href="#">福利厚生施設</a> が整備されている	
合計得点(10点満点)		

評価点の定義: 十分実現している場合は1点、それ以外は0点



# 7. 情報技術

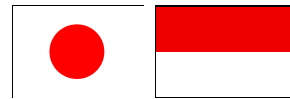


No.	チェック内容	評価点
1	社内の業務をIT化するための <a href="#">長期的な戦略</a> や計画が立案されている	
2	社内の業務をIT化するための人材の育成と専門家の確保が進められている	
3	顧客サービスを向上し顧客満足度を高めるためのIT活用が進んでいる	
4	規制遵守の強化やリスクマネジメントの分野でIT活用が進んでいる	
5	企業のあらゆる情報やデータはITを活用して保存し活用されている	
6	自社専用のアプリやシステムを開発し業務改善に取り組んでいる	
7	社内で活用されているITは一部門の利用に限定されず共有されている	
8	社内のIT化に親身になって支援してくれるベンダーが存在する	
9	社内で使われるITの仕組みと機能はほとんどの社員が理解している	
10	IT導入による効果がコストを上回っていることが定期的に確認されている	
合計得点(10点満点)		

評価点の定義: 十分実現している場合は1点、それ以外は0点



## 8. 財務経理

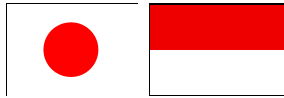


No.	チェック内容	評価点
1	中長期事業計画に基づく年度予算に対する月次の実績報告が実施されている	
2	資金繰りを考慮して与信条件が設定され、売掛金回収の実績が把握されている	
3	給与・手当の支払額に影響する規定の変更は資金繰り計画に反映されている	
4	資金繰りに余裕を持たせるために、買掛期間の延長交渉は継続的に行われている	
5	余剰資金は最適かつ安全に運用出来るようにいくつかの選択肢が用意されている	
6	内部統制の一環として、決済権限規程は関係者の間で共有されている	
7	不要な税務調査を避けるべく、会計士および税理士とは密接に連携している	
8	為替変動に備えた輸入決済資金の手当てが出来ている	
9	固定資産の耐用年数が正しく設定され、 <a href="#">減価償却</a> が適切に行われている	
10	固定資産が耐用年数以上使用出来るように、点検・保全・修理が定められている	
合計得点(10点満点)		

評価点の定義: 十分実現している場合は1点、それ以外は0点



## 9. 社会責任

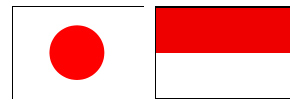


No.	チェック内容	評価点
1	自社の商品は環境問題を意識しており、適切に対応している	
2	自社の施設は環境問題を意識しており、適切に対応している	
3	全従業員を対象に、環境対応についての自社の取組を理解させている	
4	環境問題が発生した場合の対応措置が予め定められている	
5	事業を展開する上で関連する全ての法規を把握しその遵守に努めている	
6	株主、コミサリス、取締役は会社法に則りその責務を果たしている	
7	関連する政府組織とは良好な関係を築き、随時支援や助言を受けられる	
8	関連する業界団体や公共団体とは良好な関係を築き、随時支援や助言を受けられる	
9	法律に関する課題や問題、あるいは訴訟が発生した際に頼れる法律事務所がある	
10	地域社会に自社の事業目的や活動を正しく伝える機能や部門がある	
合計得点(10点満点)		

評価点の定義: 十分実現している場合は1点、それ以外は0点



# 10.防犯保障

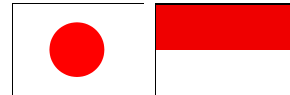


No.	チェック内容	評価点
1	会社の資産や財産の盗難を防止するための仕組みが整備されている	
2	会社の資産や財産が私的に利用されないための仕組みが整備されている	
3	会社の知的財産が流出したり、私的に利用されないための仕組みが整備されている	
4	会社内での規則違反に対する罰則は全従業員に周知されている	
5	会社内での犯罪行為や暴力行為に対する罰則は全従業員に周知されている	
6	会社内で防災組織が編成され、定期的に防災訓練が実施されている	
7	社内外の関係者との重要な会議の議事録は署名入りで保管されている	
8	社外の関係先との重要な取引の際には必ず <a href="#">契約書</a> を取り交わしている	
9	偽物対策として現地において商標登録を済ませている	
10	必要で十分な <a href="#">損害保険</a> に加入している	
合計得点(10点満点)		

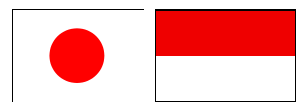
評価点の定義: 十分実現している場合は1点、それ以外は0点



# 11.総合評価



評価点	診断
81～100	会社法人としてやるべきことをほとんど実施しているため、仮に問題が発生しても組織として適切に対応出来、会社の経営資源を長期的な事業計画の実現に充てられることで、成長することは大いに期待されます。
61～80	会社法人としてやるべきことから漏れている項目を早急を実施することで、会社の経営資源を長期的な事業計画の実現に充てられ、成長することは十分に期待されます。
41～60	会社法人としてやるべきことから漏れている項目を早急を実施することで、想定外の問題に対処するために取られている経営資源を、成長のために使えるよう改善する必要があります。
21～40	会社法人としてやるべきことの多くが実施されていないため、計画的に改善を進めることが必須で、放置したままでは労多くして事業の成功は覚束ないでしょう。
0～20	会社法人としてやるべきことをほとんど実施していないため、常に想定外の問題が発生し、日々その対応に追われ、事業の成功は覚束なく、撤退の危機に直面する日も遠くないでしょう。



## インドネシア進出サポート公式サイト

<https://www.hmkt.jp/>

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイトです。  
毎月1日発行のメルマガのバックナンバーも掲載しています。  
(Googleトップランキング)

## インドネシア最新情報ブログ

<https://per-inc.com/blog/>

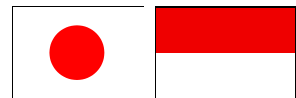
あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介しています。

## インドネシア進出サポートウェブセミナー

<https://www.youtube.com/channel/UCXghuRz7zRX5jLOXu75rQjQ>

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています。  
インドネシア週刊ニュースダイジェストも毎週月曜日に発信しています。

**愛する二つの祖国である、日本とインドネシアの発展のため、  
全てのコンテンツは無料で公開されています**



**ご清聴ありがとうございました  
ここからは質疑応答です**